

当面の取り組み(課題/目標/主な対策)のロードマップ 6/17改訂版

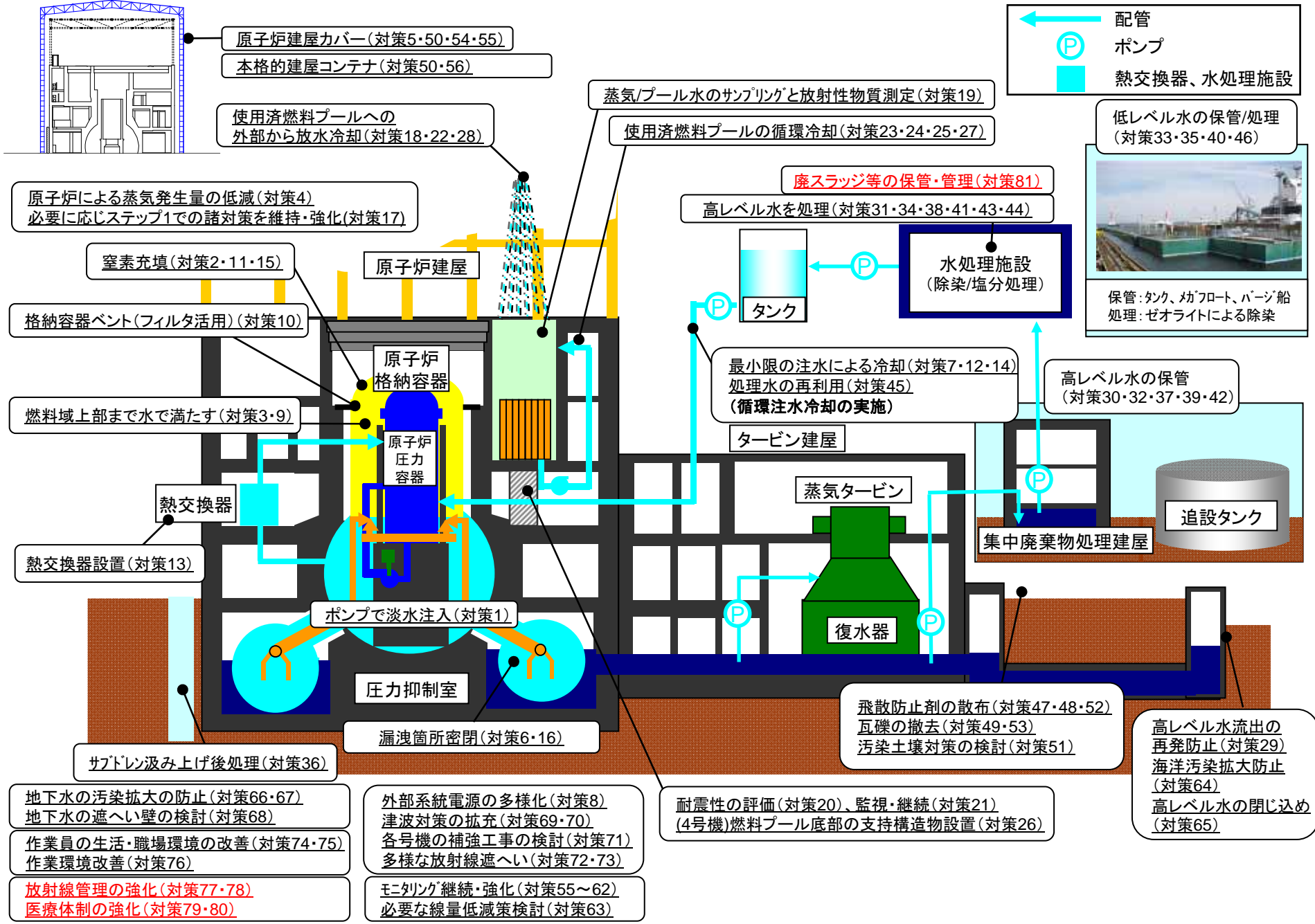
①

赤字:前回からの追加点、青字:変更点

課題	初回(4/17)時点	ステップ1(3ヶ月程度) ▼現時点(6/17)	ステップ2 (ステップ1終了後3~6ヶ月程度)	中期的課題
I. 冷却	(1) 原子炉 淡水注入	最小限の注水による燃料冷却(注水冷却) → 循環注水冷却(開始)	循環注水冷却(継続)	構造材の腐食破損防止 <small>※一部前倒し</small>
		滞留水再利用の検討/準備	格納容器冠水 熱交換機能の確保	
	(2) 燃料プール 淡水注入	窒素充填 格納容器漏洩箇所の密閉の検討/実施 作業環境改善	安定的な冷却	冷温停止状態
		注入操作の信頼性向上/遠隔操作 <small>※前倒し</small> 循環冷却システム(熱交換器の設置) <small>※一部前倒し</small>	安定的な冷却	より安定的な冷却
II. 抑制	(3) 滞留水	放射性レベルの高い水の移動 → 保管/処理施設の設置	保管/処理施設拡充	本格的な水処理施設の設置 建屋内滞留水の処理完了 廃スラッジ等の処理
		放射性レベルの低い水の保管 → 保管施設の設置/除染処理	除染/塩分処理(再利用)等 廃スラッジ等の保管/管理	
	(4) 地下水	地下水の汚染拡大防止	海洋汚染拡大防止 海洋汚染拡大防止	汚染水全体の低減
		飛散防止剤の散布 瓦礫の撤去	飛散抑制	飛散抑制(継続)
	(5) 大気・土壌		原子炉建屋カバーの設置(換気システム付) 原子炉建屋コンテナの検討	原子炉建屋コンテナ設置
III. 除染・モニタリング	(6) 発電所内外の放射線量のモニタリング拡大・充実 はやく正しくお知らせ		避難指示/計画的避難/緊急時避難準備区域の放射線量を十分に低減	環境の安全性を継続確認・お知らせ
IV. 対策等	(7) 余震・津波対策の拡充、多様な放射線遮へい対策の準備	災害の拡大防止 (4号機燃料プール)支持構造物の設置	災害の拡大防止 各号機の補強工事の検討/実施	各号機の補強工事
V. 環境改善	(8) 生活・職場環境	作業員の生活・職場環境の改善	環境改善の充実	作業員の生活・職場環境改善(継続)
	(9) 放射線医療管理		放射線管理・医療体制の改善	放射線管理・医療体制改善(継続)

発電所内における主な対策の概要図 6/17改訂版

赤字は前回からの追加対策



諸対策の取り組み状況(その1)

③

赤枠は進捗した対策

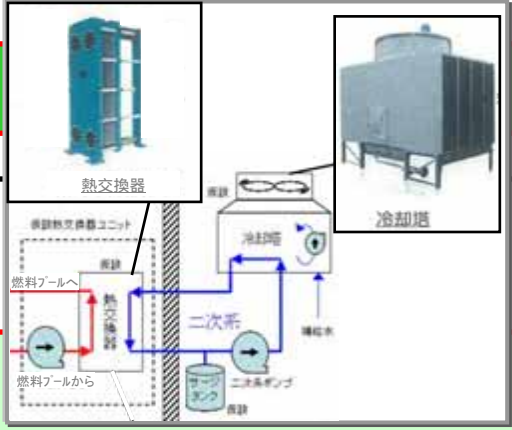
課題	号機	<ステップ1(7月中旬を目途)>:放射線量が着実に減少傾向となっている ▼前回時点(5/17) ▼現時点(6/17)		
I. 冷却	1号機	窒素充填【対策11】	(ステップ2へ継続)	
		最小限の注水による燃料冷却(注水冷却)【対策14】	循環注水冷却の開始／実施【対策12・14・45※】	
		滞留水再利用の検討／準備【対策12・45※】	・処理した滞留水を利用した注水 (ステップ2へ継続)	
			※(対策45はステップ2からの前倒し実施)	
		作業環境改善【対策76】 ・瓦礫撤去、線量確認、建屋入域	熱交換機能の確保【対策13】	(ステップ2へ継続)
			漏洩箇所の密閉の検討／実施【対策16】	(ステップ2へ継続)
	2号機	最小限の注水による燃料冷却(注水冷却)【対策14】	循環注水冷却の開始／実施【対策12・14・45※】	
		滞留水再利用の検討／準備【対策12・45※】	・処理した滞留水を利用した注水 (ステップ2へ継続)	
		格納容器の漏洩箇所の密閉方法の検討【対策6】	漏洩箇所の密閉の検討／実施【対策16】	
		※(対策45はステップ2からの前倒し実施)		
	窒素充填【対策11】 ・充填開始(6月下旬)		(ステップ2へ継続)	
	作業環境改善【対策76】 ・線量確認、局所排風機運転(6/11)、建屋入域	熱交換機能の確保【対策13】	(ステップ2へ継続)	
3号機	最小限の注水による燃料冷却(注水冷却)【対策14】	循環注水冷却の開始／実施【対策12・14・45※】		
	滞留水再利用の検討／準備【対策12・45※】	・処理した滞留水を利用した注水 (ステップ2へ継続)		
		※(対策45はステップ2からの前倒し実施)		
		漏洩箇所の密閉の検討／実施【対策16】	(ステップ2へ継続)	
	窒素充填【対策11】 ・充填開始(7月上旬)		(ステップ2へ継続)	
	作業環境改善【対策76】 ・瓦礫撤去、線量確認、除染・遮へい、建屋入域	熱交換機能の確保【対策13】	(ステップ2へ継続)	

目標①② 安定的な冷却

凡例 : 実施開始済 : 現場工事中 : 現場着手 : 現場未着手

諸対策の取り組み状況(その2)

赤枠は進捗した対策

課題	号機	<ステップ1(7月中旬を目途)>:放射線量が着実に減少傾向となっている ▼前回時点(5/17) ▼現時点(6/17)	
I. 冷却 (2) 燃料プール	1号機	“キリン”等による注水の継続【対策22】 通常のラインによる注水の復旧【対策24】 ・通常ラインから注水(5/29~)	熱交換器の設置による冷却【対策25・27※】 検討・設計 → 製作・輸送 → 据付工事(～ステップ2) ※(対策27はステップ2からの前倒し実施)
	2号機	通常のラインによる注水の復旧【対策23】 熱交換器の設置による冷却【対策25・27※】 ・循環冷却運転(5/31~) ※(対策27はステップ2からの前倒し実施)	熱交換器の設置 イメージ 
	3号機	“キリン”等による注水の継続【対策22】 通常のラインによる注水の復旧【対策24】 ・通常ラインから注水(5/16)	熱交換器の設置による冷却【対策25・27※】 検討・設計 → 製作・輸送 → 据付工事 ※(対策27はステップ2からの前倒し実施)
	4号機	“キリン”等による注水の継続【対策22】 通常のラインによる注水の復旧【対策24】 ・瓦礫撤去、足場組み等実施中	熱交換器の設置による冷却【対策25・27※】 検討・設計 → 製作・輸送 → 据付工事(～ステップ2) ※(対策27はステップ2からの前倒し実施)

目標④ 安定的な冷却

凡例 ■:実施開始済 ■:現場工事中 ■:現場着手 ■:現場未着手

諸対策の取り組み状況(その3)

⑤ 赤枠は進捗した対策、赤字は追加した対策

課題	<ステップ1(7月中旬を目途)>:放射線量が着実に減少傾向となっている ▼前回時点(5/17) ▼現時点(6/17)		
II. 抑制 (3) 滞留水	【高レベル】		
	十分な保管場所の確保【対策37-39】 ・集中廃棄物処理建屋に移送中 ・地下タンク、処理水受用タンクの設置	十分な保管場所の確保の継続【対策37・39・42※】	目標⑥ 高レベル水の十分な保管場所確保
	地下タンク用敷地整備(～6月末) 処理水受用:11,000トン(5/10) → 2,000トン(5/22) → 20,000トン(7月上旬)	地下タンク輸送・設置工事(～ステップ2) 20,000トン(7月下旬) → 20,000トン/毎月(～ステップ2)	
	海洋汚染拡大防止策の検討【対策64】 シルトフェンスの設置等 → 循環型浄化装置稼動(6/13)	海洋汚染拡大防止の継続【対策64】 鋼管矢板設置等工事(～ステップ2)	
	高レベル水の閉じ込め【対策65】 2,3号機タービンレンヂ立坑の閉鎖(6/2) → ピット等閉塞(6/10)	※(対策43・45はステップ2からの前倒し実施)	
処理施設の設置【対策38】 検討・設計・製作・輸送 → 除染/塩分処理装置据付工事	建屋内汚染水の排除・処理継続【対策38・43・45※】 運転:処理水は再利用(～ステップ2へ継続)		
	廃スラッジ等の保管/管理【対策81】 (～ステップ2)		
【低レベル】	保管容量の拡充・汚染水除染【対策40-41】 ・タンクの設置(5/31:18,400トン) ・メガフロート(5/21:10,000トン) ・除染剤(ゼオライト)の本格運用開始(5/1～)	保管容量の拡充・汚染水除染の継続【対策40-41】 ・バージ船(6月下旬:1,200トンと1,000トン)	目標⑦ 水の保管・処理 低レベル
地下水の汚染拡大の防止策の検討【対策66】	地下水の汚染拡大の防止策の実施【対策67】 1-4号建屋周りサブドレンポンプの復旧(～ステップ2) 保管/処理施設拡充計画にあわせてサブドレン管理(～ステップ2)	目標⑨ 汚染拡大の防止 海洋への	
地下水の遮へい壁の検討【対策68】 (～ステップ2)			

凡例 緑色:実施開始済 浅緑色:現場工事中 黄色:現場着手 赤色:現場未着手

諸対策の取り組み状況(その4)

⑥
赤枠は進捗した対策、赤字は追加した対策

課題		<ステップ1(7月中旬を目途)>:放射線量が着実に減少傾向となっている ▼前回時点(5/17) ▼現時点(6/17)		
II. 抑制	(5) 大気・土壌	飛散防止剤の散布【対策52】 ・平面及び法面約34万㎡(6/14実績) ・1~4号機建物周り約12万㎡(6/14実績)	飛散防止剤の散布の継続【対策52】 (~ステップ2) ・平面及び法面:約42万㎡(~6月末) ・1~4号機建物周り:4号機原子炉建屋に散布予定(6/18頃)	目標⑨ 放射性物質の飛散防止
		瓦礫の撤去【対策53】 (4/6~ ステップ2) ・約4㎡のコンテナ279個分、約8㎡のコンテナ30個分回収(6/14実績)		
		原子炉建屋カバーの設置【対策54】 ・1号機:準備工事(5/13)、本体工事(6/27) 設計 調達・製作 現地工事(~ステップ2) ・3,4号機:現在設計中(~ステップ2)		
		原子炉建屋コンテナの検討【対策50】 (~ステップ2)		
III. 除染	(6) 測定・低減・公表	モニタリング拡大・充実、公表【対策60・61】 (~ステップ2) <発電所敷地内外のモニタリングを継続実施、放出量を推定中> ・陸域:空間線量率(50地点/週)、土壌汚染調査等 ・海域:福島県沖、茨城県沖、宮城県沖に範囲を拡大。海生物モニタリングや無人調査船の導入検討中。港湾内放射能濃度は告示以上(対策64にて除染開始)	目標⑩ グの拡大・充実等	
IV. 余震対策等	(7) 津波・補強・他	津波対策【対策69】 ・高台に非常用仮設電源移動(4/15) ・注水ラインの多重化(~4/15)、高台に消防車等設置(~4/18)	津波対策の拡充【対策70】 ・仮設防潮堤の設置(5/18~6月末)	目標⑮ 災害の拡大防止
		多様な放射線遮へい対策の準備【対策72】 (スラーの利用) ・配管工事完了、ポンプ車配備(5/17)	多様な放射線遮へい対策の継続【対策73】 (~ステップ2)	
		(4号機)燃料プール底部に支持構造物を設置【対策26】 ・解析評価済、工事着手(5/23~)、補強効果発現(6月下旬)	各号機の補強工事の検討/実施【対策71】 (~ステップ2)	
V. 環境改善	(8) 生活・職場環境	作業員の生活・職場環境の改善【対策74】 食事の改善 宿泊環境整備 仮設寮整備 生活用水確保 現場休憩施設設置(当社設置分7箇所:6/17実績)	作業員の生活・職場環境の改善の継続・拡充【対策75】 6月末以降 仮設寮へ順次移動 (~ステップ2) 仮設寮順次増設 生活用水利用可能量増量 現場休憩施設増設	目標⑰ 環境改善の充実
		放射線管理の強化【対策77】 ・人及び車両除染設備の設置 ・検査確認書を発行(5/7) ・個人線量計の貸出にバーコードリーダーを導入	放射線管理の強化継続【対策78】 ・政府の支援の下、ホールボディカウンタ配置の増強(~7月末日途) 追加増強(~ステップ2) ・除染設備の増強:雨天時計測所、洗剤除染場所の設置(~7月上旬) ・個人線量計の数値の自動記録化	目標⑱ 健康管理の充実
	医療体制の強化【対策79】 ・政府の支援の下、夏季熱中症対策も考慮し、24時間医師常駐(5/29)	医療体制の強化継続【対策80】 (~ステップ2) ・政府の支援の下、診療所の増設、配置医師の複数化、患者の搬送方法の改善等		

凡例 :実施開始済 :現場工事中 :現場着手 :現場未着手